

ソリスト・間狂言俳優オーディション受験者の皆さんへ

舞台づくり・役者づくりについて

演出/制作総指揮 植村文明

当歌劇団の活動方針などをご理解いただき、ミスマッチによるお互いの時間的無駄を省くために、受験の前にご一読ください。

1. 団員の心得

(1) 小銭稼ぎは参加お断り

新作舞台に立つという稀な機会を得られる幸せを謙虚に受け止めて、感謝の念を持たないもの、稽古・リハーサルからギャラにこだわる受託業の小銭稼ぎの人は当歌劇団にふさわしくありません。新たな商品価値、新たな自分を生み出す開発センター「虎の穴」(il buco della tigre)として、当歌劇団をスターダムにのし上がるための自己習練の場であるという前提認識が必要です。

(2) 向上心・野心無き者は去れ

本歌劇団の新作歌劇はすべてが世阿弥の『能作書』(三道)の作風を重視しています。能楽師と同様に死ぬまで修業の連続です。団員はみな同等に扱われ、過去の栄光や学歴はここでは無意味です。向上心が途切れたら舞台に立つ資格はありません。たとえ途中で気力・体力が無くなれば後進に席を譲る禅譲さも必要です。足のひっぱり合いではなく、人の活かし方を重視するプロ集団を目指したいと思えます。悪い箇所を探すのではなく、良きところを最大限に生かし、人を否定せず、お互いに長所を尊ぶことが、当歌劇団の人材育成の基本です。

2. 舞台で要求される技能

当歌劇団の舞台は、オペレッタブルなサプライズショーが売り物の「見た目はイタリア料理、出汁は和風」なエンターテインメントです。

私が団員に求める必要な技能は以下の5つです。

①歌唱力 (響振力 間狂言俳優は「発声法」)

②演技力 (仕草、表情など)

③身体能力 (リズム感、平衡感覚含む)

④語学力（特にイタリア語発音 間狂言俳優は「語り」）

⑤気力（ガッツ、積極進取の精神力）

3. 厳しい稽古

数回のリハで出演できるレベルの舞台など当歌劇団には存在しません。グローバル市場を見据えた戦略的新作なのですから、どんなに有名人でもかなりの稽古が必要です。ソリスト・間狂言俳優のほとんどが能楽など基礎訓練を受けていないのですから、新作オペラの舞台に出演するにはトレーニングセンターで厳しいレッスンを受けて、コンサートで助演出演を経験してもらいます。

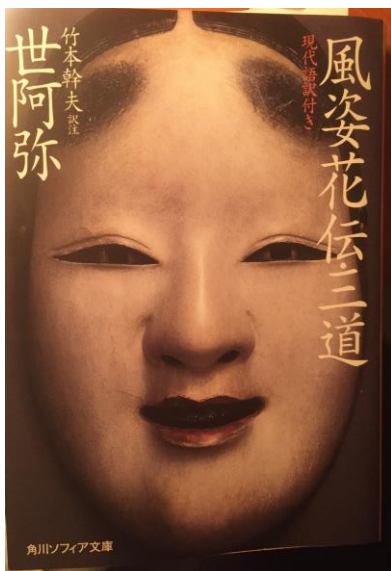
我々は条件付きで必ず出演権を与えるチャンスメーカーです。この使命を誇りにしています。しかし、趣味の一つ程度の気持ちでオーディションに参加する者たちにどうして貴重なお金やスタッフの時間を割けるというのでしょうか。可能性を見出したからこそ、厳しい稽古を行い、全員プロとして接します。タイムマネジメントやバイタルマネジメントなどの自己管理を徹底してもらいます。

4. 人に平等に与えられるもの。

それは時間(チャンス)です。チャンスに恵まれないという人は、チャンスが見えていないだけのことです。以前に朝にオーディションキャンセルが1人出ました。仕事の都合と練習不足で辞退との事。当日キャンセルとは、元々オーディションを軽視しています。この仕事をライフワークにする覚悟があれば仕事を休んで挑戦しに来るものです。二足の草鞋を履くのもいいが、どっちが優先かを腹を決めてない者は、こうやってチャンスを逃していくのです。チャンスは決してすぐに大成するものではありません。マリアセレンを見て分かる通り、小さな華が咲くだけでも、何年もの時間がかかるのです。

そのチャンスを掴むために必要なものがあります。これがオペラ俳優に必要な最後の5番目の「気力」なのです。相撲の力士の引退会見で気力と体力の限界という言葉をよく聞きます。度胸と忍耐力を求める精神力とはチョット違って、ハッケヨイの「発気良い」はスターとしての覇気や野心そしてオーラが全身からみなぎって発色するものです。気力というのも鍛える事が出来る技能(タレント)なのです。引退しても精神力は衰えない老人もいますが、若くても気力は減退しやすい人もいます。この気力は特に舞台に立つ人のオーラになって感動を与えるものです。積極進取のアーティストは、その気力でチャンスを寄せてくるのです。

みなさんにもこの気力を鍛錬する為に「究極まで無駄を省いた演劇芸術」の能楽基礎を学んでいただきます。私達の舞台では、能の様式に従って、オーケストラ・合唱団はバンダで舞台に上げているため、演じるスペースは当然狭くなります。抽象的所作のトレーニングとして コレペティトル以外のレッスンとして能楽の仕舞・謡を訓練します。これは、当歌劇団必須のプログラムで拒否できません。



「風姿花伝書」は原典ではなく現代語訳版でいいのですが入団後に全員読破してもらいます。(アマゾンで中古数百円で買えます。)

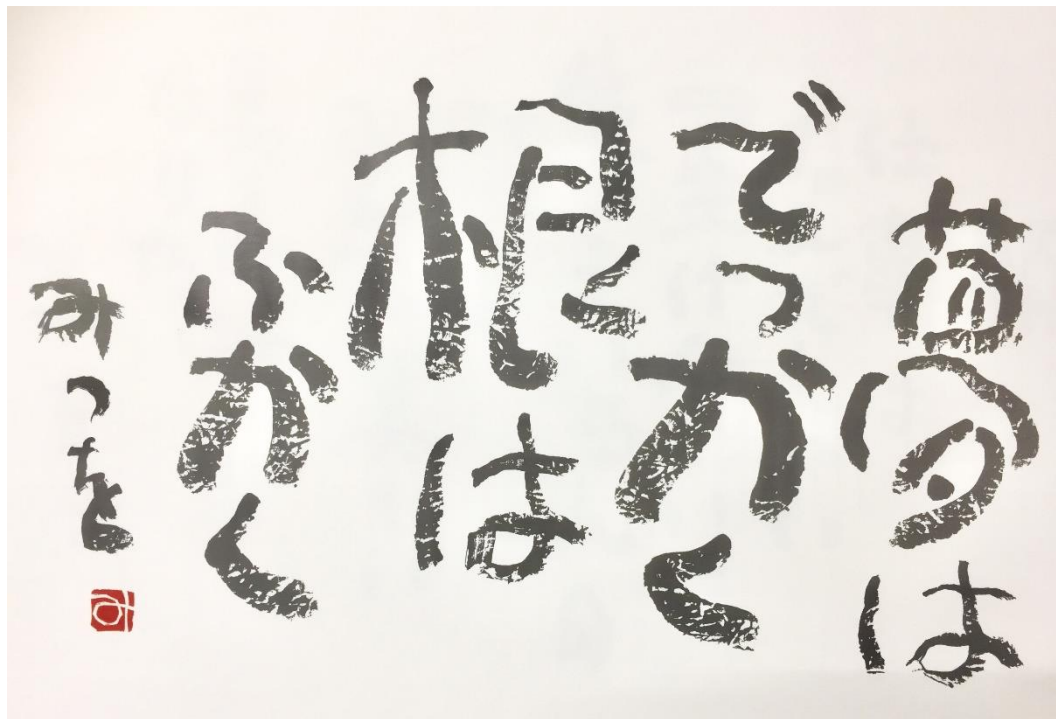
5. 覚悟はできていますか？

本書面をもう一度読み返して 私たちの活動方針を再確認してください。時代の要請に応える新しいエンタテインメントと一緒に完成させてください。従来のクラシックオペラの世界と我々のパラレルワールドの世界を行き来して構いません。みなさんにも第2第3のマリアセレンとなって頂くチャンスがありますので。歌劇団は限られた育成予算でやり繰りしているので オーディションに合格したからと言って 出演保証されている訳ではありません。配役に適するオペラ俳優技能を修得してもらい 要求レベルに達しない場合には 配役されません。

能楽でも 70歳を過ぎないと舞えない秘曲があります。我々の歌劇に定年はありません。もっともっと 5つの技能レベルを高めてください。そして共に世界を あっ！と言わせてやりましょう！そうじゃないと 人生つまらない！

でも どうしても従来の方がいい、両立できない、とても「辛い」というのであれば、さっさと去ってください。辛ければ辞めてください。でも「苦しい」なら続けてください。

オーディションでお会いできることを楽しみにしております。



以上